

(公印省略)

18久保第901号の2

平成18年11月28日

各医師会長 殿
(感染症担当理事)



福岡県久留米保健福祉環境事務所長
(健康対策課感染症係)

感染性胃腸炎等の二次感染防止強化について（依頼）

日頃から、保健福祉行政の推進にご理解ご協力いただき、有り難うございます。

さて、福岡県感染症発生動向調査情報のとおり、感染性胃腸炎が急増しています。

当保健福祉環境事務所管内でも、集団嘔吐下痢症の発生が報告されており、注意喚起が必要になっております。

初期対応は各医療機関のご協力によるところが多大でありますので、適切な二次感染防止対策を行っていただきますよう、貴医師会会員の方々に周知徹底いただきますようお願いいたします。

小郡三井医師会より

担当理事 島田昇二郎

(担当)

感染症係 平田・吉田

電話 0942-30-1054

F A X 0942-38-0680





公印省略

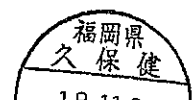
18 健第 128 号 - 33
平成 18 年 11 月 17 日

大牟田市保健所長
教育庁スポーツ健康課長
各保健福祉環境事務所長 } 殿

福岡県保健福祉部健康対策課長
(結核感染症係)

福岡県感染症発生動向調査情報について

このことについて、平成 18 年 45 週分（平成 18 年 11 月 6 日から平成 18 年 11 月 12 日分）週報を別添のとおり送付します。



各感染症対策主管課長
各医師会会長殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会長横倉義武

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報 平成18年-第45週 (H18.11.6~H18.11.12)

※ 福岡県医師会ホームページ <http://www.fukuokamed.or.jp> の感染症情報欄にも掲載されていますのでご参照下さい。

病名	報告数	前週比	主な拠点地区等	1地点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	1	+1	福岡1	0.01	0.01
RSウイルス感染症	54	142%	福岡20、北九州17	0.45	0.07
咽頭結核熱	18	46%	福岡9、筑豊4	0.15	0.30
A群溶レン菌咽頭炎	213	92%	福岡80、北九州63	1.78	1.46
感染性胃腸炎	1835	150%	各地区増加	15.29	7.08
水痘	108	132%	福岡44、北九州33	0.90	0.85
手足口病	76	88%	福岡28、筑後27	0.63	0.70
伝染性紅斑	16	-1	筑後7、北九州6	0.13	0.30
突発性発疹	89	98%	福岡28、北九州24	0.74	0.60
百日咳	5	±0	福岡4、筑豊1	0.04	0.01
風疹	0	±0		0.00	0.00
ヘルパンギーナ	5	-8	筑豊2、筑後1	0.04	0.08
麻疹	0	±0		0.00	0.00
流行性耳下腺炎	104	120%	福岡58、北九州29	0.87	0.89
川崎病(MCLS)	10	+3	北九州6、福岡4	0.08	
ウイルス性肝炎	0	-2		0.00	
マイコプラズマ肺炎	92	161%	福岡45、北九州27	0.77	0.58
クラミジア肺炎	5	+2	北九州3、筑後1	0.04	0.02
細菌性髄膜炎	1	+1	福岡1	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	2	+1	筑豊2	0.02	0.04
急性脳炎	0	±0		0.00	
急性出血性結膜炎	2	+1	北九州2	0.08	0.02
流行性角結膜炎	22	122%	福岡17、筑豊2	0.85	0.73
性器クラミジア感染症	31	119%	福岡25、筑後3	0.84	
性器ヘルペス	6	-2	福岡5、筑後1	0.16	
尖圭コンジローマ	4	+3	福岡3、筑豊1	0.11	
淋菌感染症	10	±0	福岡6、筑後3	0.27	
トリコモナス症	2	±0	福岡1、筑後1	0.05	
梅毒	1	+1	福岡1	0.03	

全国情報は平成18年44週分です。全国情報ではクラミジア肺炎11、成人麻疹0例

平成18年第44週までの累積数は、コレラ46、細菌性赤痢415(今週8、県内24)、腸チフス64、パラチフス22、ジフテリア0、腸管出血性大腸菌感染症3524(今週66、県内193)、アメーバ赤痢606、オウム病19、ウイルス性肝炎234(県内11)、クロイツフェルト・ヤコブ病146、劇症型溶レン菌感染症96、後天性免疫不全症候群1046(県内29)、髄膜炎菌性髄膜炎12、先天性風疹症候群0、つつが虫病191、デング熱49、日本紅斑熱38、日本脳炎7、梅毒509(県内27)、マラリア53、レジオネラ症428例 1類感染症の報告はナシ

- ※ インフルエンザ:10 週前より 1→0→0→0→0→0→1→2→2→0→1。北九州0 (前週0)、福岡1 (0)、筑豊0 (0)、筑後0 (0)。早良区岡田小児科の7 歳こB 型(大分より里帰り)。
- ※ RSウイルス感染症:5 週前より 26→42→40→32→38→54。北九州17 (前週17)、福岡20 (11)、筑豊4 (4)、筑後13 (6)。小倉南区きしだ小児科の1、2 歳、八幡東区橋爪小児科の6 か月、苅田町たじり小児科の3 か月、行橋市ゆげ子どもクリニックの3 か月、博多区梅野医院の9 か月(細気管支炎)、南区諸岡小児科の1、3 歳姉妹(気管支炎)、城南区しんどう小児科の1 歳(乳児園で集団発生)、直方市あざかみこどもクリニックの6 か月(気管支炎;市立八幡入院、直方市大庭小児科の11 か月、小郡市きのした小児科の7 か月、8 か月2 人、1 歳4 人、2 歳、3 歳5 人(細気管支炎)。
- ※ 咽頭結膜熱:5 週前から 38→24→42→20→39→18。北九州2 (7)、福岡9 (25)、筑豊4 (3)、筑後3 (4)。アデノキッド陽性:行橋市ゆげ子どもクリニックの8 歳、南区諸岡小児科の1 歳男、黒木町富田医院の9 歳男に咽頭扁桃炎、1、5 歳、直方市大庭小児科の2 歳。
- ※ A 群溶レン菌咽頭炎:5 週前から 133→145→182→172→231→213。北九州63 (前週67)、福岡80 (101)、筑豊25 (30)、筑後45 (33)。小倉南区ひらのサンタキッズクリニックの7 歳男5 回目、3 歳女4 回目、8 歳男と9 歳女2 回目。培養陽性:西区高崎小児科の5 歳男、6 歳男。発疹合併:博多区中尾小児科の0-14 歳男、南区井上小児科の5 歳男、城南区井上四郎小児科の6 歳男。
- ※ 感染性胃腸炎:5 週前から 693→714→1064→1227→1220→1835 と急増。北九州429 (前週278)、福岡687 (393)、筑豊210 (94)、筑後509 (455) と各地区増加。3 歳以下は55.1%。
 - ・カンピロバクター:小倉南区そお小児科の13 歳男、行橋市ゆげ子どもクリニックの1 歳男、東区あおばクリニックの12 歳女、13 歳男、博多区梅野医院の4 歳男、南区諸岡小児科の1 歳女、城南区井上四郎小児科の13 歳女、早良区岡田小児科の6 歳男、7 歳女、8 歳男、11 歳男、大野城市松田小児科の9 歳男、糸田町立緑ヶ丘病院の10 歳男(大腸菌01 月)、飯塚市こどもクリニックもりたの5 歳女(大腸菌025)、小郡市きのした小児科の4 歳男。
 - ・サルモネラ:09 群:小倉北区よしだ小児科の30 歳女。群末詳:小倉南区きしだ小児科の11 歳男、東区あおばクリニックの8 歳男。
 - ・大腸菌:小倉北区よしだ小児科の1 歳男に0103、5 歳女に018、6 歳男に025、小倉南区佐藤こどもクリニックの6 歳女に06、行橋市ゆげ子どもクリニックの2 か月女に018、6 か月女に0166、1 歳男に0125、西区下村小児科の2 歳男に0153、八幡西区倉重こどもクリニックの11 歳女に018、14 歳女に025、田川市たなかのぶお小児科の1 歳男に074、飯塚市こどもクリニックもりたの4 か月男に025、久留米市田中地平小児科の9 か月男に0125+0166。
 - ・黄色ブドウ球菌:小郡市きのした小児科の7 か月男(MSSA)。
- ※ 水痘:5 週前から 56→80→76→81→82→108。北九州33 (前週26)、福岡44 (22)、筑豊16 (12)、筑後15 (22)。15 歳以上0 人。ワクチン済例:行橋市ゆげ子どもクリニックの11 歳男(H10. 6/25; VZ03; 軽症)、飯塚市こどもクリニックもりたの4 歳男(H17. 6/8; VZ035; 軽症)。
- ※ 手足口病:5 週前から 51→65→71→62→86→76。北九州14 (前週13)、福岡28 (43)、筑豊7 (6)、筑後27 (24)。
- ※ 伝染性紅斑:5 週前から 13→12→24→27→17→16。北九州6 (前週3)、福岡3 (7)、筑豊0 (0)、筑後7 (7)。20 歳以上0 人。
- ※ 百日咳:5 週前から 7→5→5→2→5→5。博多区中尾小児科の48 歳女(DPT 不明;東浜 10、山口 40)、(独)福岡病院小児科の8 歳男(DPT 未;東浜 10、山口 80;WBC 12370、Ky 51%;咳1 週間、43 歳女(東浜 40、山口 160;咳2 か月以上)、飯塚市細川医院の29 歳女(東浜 80、山口 10;咳2 か月)。
- ※ 風疹:10 週前から 0→0→0→0→0→0→0→0→0→0。
- ※ ヘルパンギーナ:5 週前から 8→8→15→7→13→5。北九州1 (前週1)、福岡1 (7)、筑豊2 (2)、筑後1 (3)。
- ※ 麻疹:10 週前から 0→0→0→0→0→0→0→0→0→0。
- ※ 流行性耳下腺炎:5 週前から 83→97→116→93→87→104。北九州23 (前週26)、福岡58 (37)、筑豊7 (3)、筑後10 (21)。15 歳以上3 人。須恵町水戸病院小児科の15 歳男は両側精巣炎。

※ マイコプラズマ肺炎:今週92 例、前週57 例。抗体測定例:小倉南区きしだ小児科の11 歳女(PA:5120)、北九

州市立八幡病院小児科の1歳男(1280)、2歳男(80→1280/4日)、4歳女(320→10240/4日)、5歳男(2560)、女(5120)、9歳女(640)、16歳男(160→5120/6日)、戸畑区大原小児科の1歳男(320)、3歳男(640)、4歳女(80)、戸畑区佐久間小児科の10-14歳女(80→2560/4日)、東区まえたこども医院の5歳男(1280)、7歳女(160)、福岡市立こども病院の3歳女(1280)、中央区ざいつ小児科の10歳男(2560→5120)、(独)福岡病院小児科の1歳男(81920)、2歳女(320)、5歳女(20480)、女(81920)、女(5120)、6歳女(5120)、女(320)、7歳男(640)、8歳女(2560)、女2人(320)、9歳男2人(2560)、10歳男(320)、11歳男(40960)、男(640)、13歳女(640)、15歳女(81920)、32歳女(2560)、南区諸岡小児科の7歳女(160→5120)、西区下村小児科の7歳女(40→5120)、西区木下小児科の3歳女(320)、10歳男(640)、女(320)、大野城市松田小児科の1歳男(80)、3歳男(160)、前原市やました小児科の5歳女(640)、新宮町よしおかクリニックの6歳女(320)、10歳女(1280)、直方市あざかみこどもクリニックの2歳女(40→160)、3歳女(160→320)、8歳女(160)、12歳男(640)、田川市たなかのぶお小児科の5歳女(2560)、7歳男(80)、糸田町立緑ヶ丘病院の5歳女(320)、嘉麻市平野医院の4歳女(320→5120/11日)、久留米市田中地平小児科の2歳男(2560)、朝倉市富田小児科の11歳男(160)、15歳女(320)。八幡東区橋爪小児科の5歳女2人、6歳女、小郡市きのした小児科の6歳女(イムノカード陽性)。

※ クラミジア肺炎:小倉南区きしだ小児科の1歳女(C.p IgM 1.18)、1歳女(C.p IgM 1.24)、2歳女(C.p IgM 1.51)、大川市酒井医院の29歳女(C.p IgM 1.81)。

※ 細菌性髄膜炎:福岡市立こども病院の3歳男はインフルエンザ菌b型

※ 無菌性髄膜炎:5週間から1→0→2→0→1→2。北九州0(前週0)、福岡0(0)、筑豊2(1)、筑後0(0)。

※ 流行性角結膜炎:キット陽性:新宮町篠田眼科の40歳代。

※ その他の疾患:アデノ咽頭扁桃炎:小倉南区そお小児科の1、5歳、小倉南区きしだ小児科の10歳、北九州市立八幡病院小児科の1、2歳、荏田町たじり小児科の6歳、中央区ざいつ小児科の2、5歳、南区井上小児科の3歳、早良区岡田小児科の3歳、早良区中野こどもクリニックの4歳、志免町こみやま小児科の1、5、5歳、福寿市まつなが小児科の1歳、田川市たなかのぶお小児科の7か月、1、1、5、6歳、小郡市きのした小児科の10か月、3歳(キット陽性)。ヘルペス歯肉口内炎:南区井上小児科の10歳、南区諸岡小児科の1歳(カポジ水痘様発疹合併)、久留米市田中地平小児科の2歳、小郡市きのした小児科の2歳。帯状疱疹:南区井上小児科の11歳女。IM:東区まえたこども医院の1歳男。川崎病:八幡西区みやけクリニックの4か月(市立八幡入院、城南区井上四郎小児科の2歳(福大入院)。

★ ウイルス分離・検出:感染性胃腸炎:久留米市聖マリア病院の10/16の11か月女、10/21に1歳男、福岡市立こども病院の10/16の5か月女、10/19の1歳男、20歳女、10/23の1歳女の便からノロウイルス。無菌性髄膜炎:(独)九州医療センターの9/27の13歳男の髄液からコクサッキーA9型(県保健環境研究所、福岡市保健環境研究所)。

※ STDで他の疾患:非淋菌性非クラミジア性尿道炎:行橋市行橋クリニックの16歳男、52歳男、柳川市大熊泌尿器科皮膚科の41歳男。ケジラミ:八幡西区丸岡皮膚科の23歳男、太宰府市山野皮膚科の38歳男。

△ 基準定点:飯塚市飯塚病院の31歳女に無菌性髄膜炎。

☆ 国際情報:FORTH(海外旅行者のための感染症情報)ホームページ等より

- ・鳥インフルエンザH5N1:インドネシア発生続く。11/13、インドネシア55(死亡44)人、中国12(8)、トルコ12(4)、イラク3(2)、アゼルバイジャン8(5)、カンボジア2(2)、エジプト15(7)、ジブチ1(0)、タイ3(3)。
- ・ウエストナイル熱:11/7、米国の41州で患者3830(死亡119)(アイダホ州824、コロラド州310、テキサス州305人、カリフォルニア州266等)、カナダ5州で127(0)人。
- ・マラリア・デング熱:11/10、ネパールで流行中;マラリア死亡37人、デング熱死亡3人。
- ・黄熱:10/19、コートジボアールで患者2人。

☆ 国内情報:感染症情報センターホームページ等より

- ・インフルエンザ2006/07:36週に富山県でB型(タイ帰国後)、37週に兵庫県でA/H3型(フィリピン帰り)、38週に広島県でB型2件(地域流行)、滋賀県でB型、39週に大阪府で香港帰りに発症の母から感染の男2件、岡山県で中国帰りに発症の父から感染の男等3件にA/H1型。
- ・胃腸炎ウイルス2006/07;ノロGII型1府県47件、GI型1件、G不明3件、ロタA群4件。
- ・エンテロウイルス71型:計279件;手足口病193、無菌性髄膜炎21、上気道炎35、発疹7件等。
- ・2006/7年用インフルエンザワクチン:A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)、A/広島/52/2005(H3N2)、B/マ